

第 68 回全国公立学校教頭会研究大会札幌大会
第 59 回北海道公立学校教頭会研究大会札幌大会

8 年に一度の全国大会開催の宿命を受け

○持続可能なシンプルな大会 ○道教頭会の毎年の大会をベースにしながら行う大会

1 大会概要…別紙参照

2 申込手続きについて

第 0 弾 「札幌大会参加者名簿一覧表」を大会事務局から各教頭会事務局にメール送信

3 月 6 日（金） 第 2 回理事会で第二次案内が承認される予定

その翌週 3 月 9 日（月）に「札幌大会参加者名簿一覧表」を各教頭会事務局にメール送信します。…別紙参照 画面でも共有します。

第 1 弾 「札幌大会参加者名簿一覧表」を完成させ 4 月 30 日まで大会事務局にメールで返信

記入する内容は、参加者の「氏名」「勤務校の情報」のみ。シンプルにしていますので、極力期限を守って提出してください。しかしながら、やむを得ない事情が各都道府県にはありますので、遅れてもやむ無しです。大会事務局は「待ちます」

- 提言者のいる教頭会は提言者も必ず記入します。
- 「視察」する方を記入する欄は枠外となります。参加要請数の人たちとの「違い」を際立たせるため欄を作っていません。
- 全公教の役員になる教頭先生を記入しないでください。全公教の役員についての情報は全公教から大会事務局にいただきます。

第 2 弾 参加者名簿に氏名がある全員が 5 月 1 日から 5 月 31 日まで Web 申込をする

…別紙参照 画面でも共有します。

東武トップツアーズの Web システム「トライリンク＝TriLink」を使い、個々が申込をします。シンプルで余計なことは記入させないようにしたつもりです。

トップツアーズが斡旋するホテルに宿泊希望する人だけに「支払」が生じますが、それ以外の個々には Web 上で支払は発生しません。

オンライン担当業者の WAS のお便りを受け、オンライン参加者にはサインイン（ログイン）をできる Zoom アカウントを準備した上で、そのメールアドレスを記載（必須）してもらうことにしました。

オンライン参加者が「指定された名前の表記をしない」「名前の変更を呼びかけてもそもそも名前の変更の仕方がわからない」などからブレイクアウトルームのグループ分けに時間を要し分科会開始の時刻が遅れたところもあったそうです。その過ちを繰り返さないための「方法」であることを各都道府県副校長会・教頭会でもしっかりと受け止め、オンライン参加の先生への周知徹底への協力をお願いします。その理由の詳細は、WAS さんからいただいた資料をご覧ください。

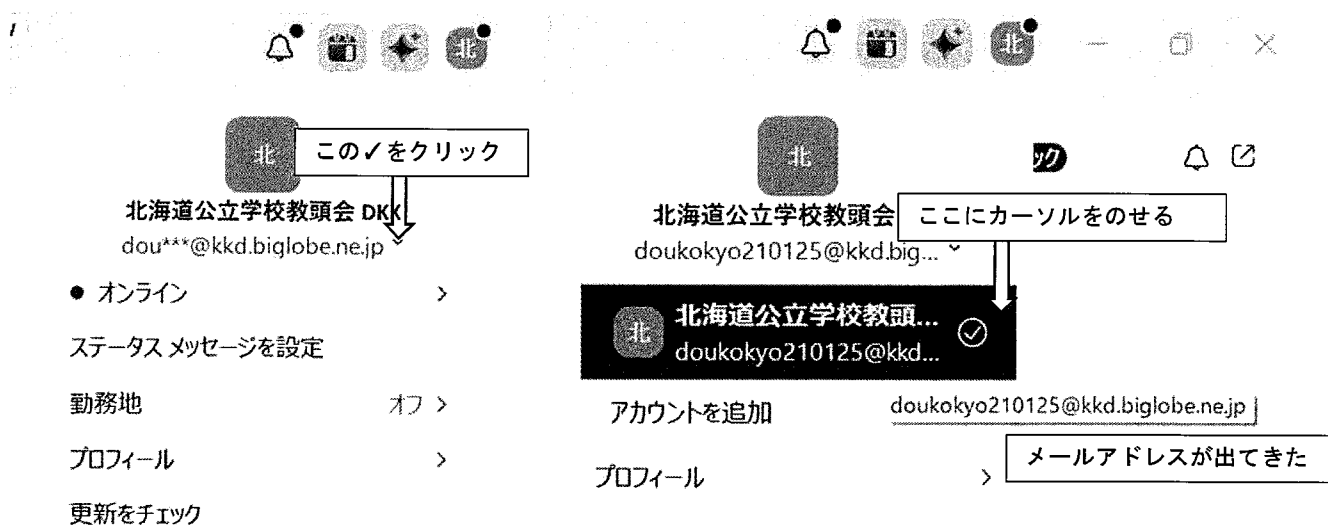
※PC に Zoom アプリが何もない状態から Zoom を始めるとすると下記のような手続きになります。

Zoom アプリのダウンロード→メールアドレスの登録・パスワードの登録→ワンタイムパスワードがメールアドレスに送られてきてそれを入力→サインイン状態へ この状態からミーティング ID（10 桁か 11 桁）とパスコード（6 桁）を入力して分科会に参加する

この場合のメールアドレスを記載してくださいと WAS さんから依頼されましたので、WEB 申込の中に取り入れました。記載が必須なので空欄にすると次に進めません。

<メールアドレスが分からない問題>

●Zoom アプリを開くとサインイン状態になっているがメールアドレスを忘れている場合



●Zoom アプリを開くとサインインを求められる。(つまりサインアウト状態になっている) それでいてメールアドレスが分からない場合

→これは、再登録するしかないので、前のページの何もない状態から Zoom を始めることと同じ作業をして「サインイン」の状態をつくっていくしかありません。

第3弾 東武トップツアーズ札幌支店が6月上旬に「請求書」を各教頭会事務局に郵送 それを受けて6月15日（月）までに支払い完了

東武トップツアーズ札幌支店から6月上旬をめどに請求書が届きます。

- 参集参加者一人 3,000 円の大会参加費×人数分
- オンライン参加者一人 3,000 円の大会参加費×人数分
- 参集参加者 2 日目昼食代 1,500 円×人数分

提言者の大会参加費と2日目昼食代は大会事務局が支払います。

これらの内容が記載された1枚の請求書が6月上旬に届けられる予定です。

※請求書を複数枚に分けて発行してほしい場合は、大会事務局にその具体をご連絡ください。大会事務局より東武トップツアーズに伝えます。



届いたら合計金額を東武トップツアーズの指定口座に振り込みます 6月15日（月）まで



領収書については、各教頭会から要請があれば作成し、要請がなければ発行しません。要請の仕方はWEB システム マイページの MENU の一番下に「領収証発行依頼書」があるのでそこをクリックしたうえで記入し、下記メールアドレスに送信してください。

68-kyotokai@tobutoptours.co.jp 担当:中井康裕

これまでの大会に倣い大会事務局より「大会参加費 3,000 円」の領収書、「2 日目昼食代」の領収書を作成し、その PDF データを各都道府県副校長会・教頭会事務局に送信いたします。必要があれば印刷の上ご使用ください。

3 諸連絡

- ★1 会場開催の便利さはあると思いますが、不便なところもあります。分科会では1テーブルに8人掛けとなります。部屋を最大限に使っているので狭さを感じます。スーツケースを分科会会場に置いておくことは難しくクロークを複数箇所用意する予定ですのでご利用ください。
- ★毎年行っている北海道内の研究大会も兼ねていますので、特に開会行事にてステージに登壇する来賓・運営者の人数は「いつもの北海道内の研究大会」並みに多くなりますのでご承知おきください。
- ★分科会のグループ協議での司会者ですが、参集では札幌市の教頭が司会者を務めます。オンラインではグループ数が非常に多くなることから、グループ内で決めていただくことにします。
- ★会場へのアクセスは札幌市営地下鉄東西線を利用していただきます。「東札幌駅」から徒歩で10分程度です。中心部「大通駅」から「東札幌駅」までは6分です。「さっぽろ駅」「すすきの駅」「中島公園駅」など宿泊ホテルが多いこれらの駅からも15分程度で「東札幌駅」に行くことができます。
- ★大会事務局では「提言者」14人分の宿泊ホテルを予約します。

	参加者氏名	勤務先名	勤務先郵便番号	勤務先住所	勤務先電話番号
例	一般参加か 提言者が 視察か	参加	分科会	札幌市立時計台中学校	000-0000
例	オンラインか	参集		北海道公立学校教頭会	001-0017
1	一般参加	第3			
2	一般参加	第1A			
3	一般参加	第1B			
4	一般参加	第2			
5	一般参加	第3			
6	一般参加	第3			
7	一般参加	第3			
8	一般参加	第4			
9	一般参加	第5A			
10	一般参加	第5B			
11	一般参加	第6			
12	一般参加	第1A			
13	一般参加	第1A			
14	一般参加	第1B			
15	一般参加	第1B			
16	一般参加	第2			
17	一般参加	第2			
18	一般参加	第3			
19	一般参加	第3			
20	一般参加	第3			
21	一般参加	第3			
22	一般参加	第3			
23	一般参加	第4			
24	一般参加	第4			
25	一般参加	第5A			
26	一般参加	第5A			
27	一般参加	第5B			
28	一般参加	第5B			
29	一般参加	第6			
30	一般参加	第6			
31	一般参加	特別I			
32	一般参加	特別I			
33	一般参加	特別II			

和歌山県からは第3に提言者がいますので、提言者もこの名簿に記入願います。参加要請数には含んでおりません。和歌山県教頭会事務局（事務局）から参加の場合は33番より下、欄外に記入願います。例示されていますように「視察」と書き、分科会は斜線を引いてください。全公教役員、全公教専門部員に和歌山県から選出されている方については、この名簿に記入しないようにしてください。